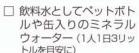
■非常時持ち出し品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。 事前に準備出来ているか、チェック▼しましょう。

非常時用 備蓄品 (例)

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック▼しましょう。



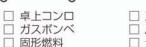


□ 貯水した防災タンクなど



- も便利)
- □ 缶詰・レトルト食品 □ 梅干し・調味料など
- □ ドライフーズ・チョコレート・ アメ(菓子類など)







- □ スコップ □バール □ジャッキ
- □ペンチ ロロープ





- □ 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- □ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライ シャンプーなど
- □ 調理器具(なべ・やかんなど) □ バケツ・各種アウトドア用品など
- □ 皿・コップ・はし
- □ ラップ・アルミホイル・キッチンペーパー・缶切りなど □ 簡易トイレ
 - □ ろうそく・新聞紙・段ボール・布製ガムテープ・着火 ライター・マッチ
 - □ スリッパ・長靴
 - □ ほうきとちりとり

常 持ち出し品 (例)

□ 非常用食品

□ 缶切り



- □ ラジオ
- □ 電池(多めに用意)

もの、食器など

□ ミネラルウォーター□ 栓抜き

□ 軟らかい非常食

□ アレルギー対応の非常食

□ 紙コップ

非常食品等

火を通さないで食べられる

- □ 傷薬 風邪薬 □ 胃腸薬 □ ばんそうこう □ 持病薬 □ マスク
- □包带
- □現金 □ 免許証
- 健康保険証 □ 権利証書 □ カード類(コピー)
- 預金通帳
- □ 懐中電灯 (できれば一人にひとつ)
- □ 電池(多めに用意)

懐中電灯

□ 予備のキー

- □ 衣類(下着・上着など) □ メガネ・予備の □ カッパ □ 生理用品
- □ タオル □ 入れ歯・補聴器・ □ 携帯電話の充電器 □ ヘルメット 大人用紙おむつ・ □ ビニールシート ラップフィルム 補助具の予備 (止血や食器にかぶせて使う) 障がい者手帳 □ ペーパー歯みがき
- □ ペット用品・ペットフードなど □ ティッシュペーパー・□ 母子手帳
- トイレットペーパー
 □ 離乳食 □ ウェットティッシュ □ 粉ミルク □ ナイフ
- □ 紙おむつ □ 化粧品 □ 新生児用品・ほ乳瓶・おしりふき・おもちゃ

1週間を想定した工夫と備え

ローリングストック法で備蓄した非常食を活用

ローリングストック法

定期的(1ヶ月に1、2度)に食べて、食べた分を買い足し備蓄していく方法です。 食べながら備えるため、消費期限が短いレトルト食品等も非常食として扱えます。

※1週間分の飲料水、また生活用品も備えましょう。飲料水は1人1日3 ℓ×家族分の準備を。

実野田社(第4)パザードマップ

問合せ先 新富町役場 農地管理課 0983-33-6038

この「ため池ハザードマップ」は栗野田池(第4)堤体が万が一決壊した場合に想定される浸水状 況や避難に役立つ情報をまとめたものです。迅速かつ安全に避難するために役立ててください。

■ため池決壊について





大雨が降り続いたり、地震 が発生した時は、ため池が 決壊する恐れがありますの で、決壊する前に早めの避 難を心がけてください。

災害事例 広島県では…

平成30年7月豪雨では、西日本の2府4 県で32か所のため池が決壊しました。 特に広島県では、ため池上部のグラウ ンドの崩壊による土砂流入によってた め池が決壊し、死者1名、負傷者4名の 被害がでました。

民

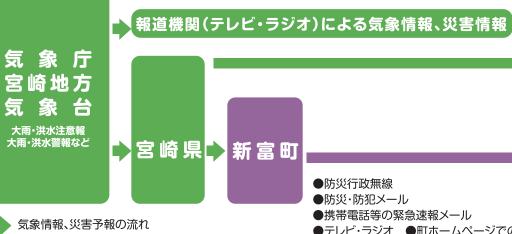
の

さ

■行政からの呼びかけ (避難情報) に注意しましょう

気象情報· 防災情報 などの流れ

災害に関する注意報や警報が発表されたら、町からの情報に注意してください。



- 避難勧告、避難指示などの流れ

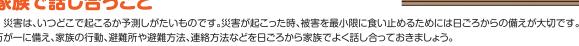
- ●携帯電話等の緊急速報メール
- ●テレビ・ラジオ ●町ホームページでの配信
- ●報道機関への広報要請 ●消防団による呼びかけ

■避難行動の心得を確認しましょう

災害に 備えて

●家族で防災会議をしてみましょう





- 万が一に備え、家族の行動、避難所や避難方法、連絡方法などを日ごろから家族でよく話し合っておきましょう。 また、災害に備えて家の中と外をチェックし、危険な場所は早めに改善するようにしましょう。
- ●家の中ではどこが安全か。●救急医療薬品や消火器などを備えているか。
- ●避難するところはどこか、どのような経路を通って避難するか。
- ●避難するとき、誰が何を持ち出すのか、非常時持ち出し品はどこに置くか。●家族間の連絡方法と最終的に出会う場所はどこにするか。
- ●昼の場合と夜の場合の避難の方法はどのようにするか。●家族の役割分担はどうするか。●地域の防災活動に参加できるかどうか。

